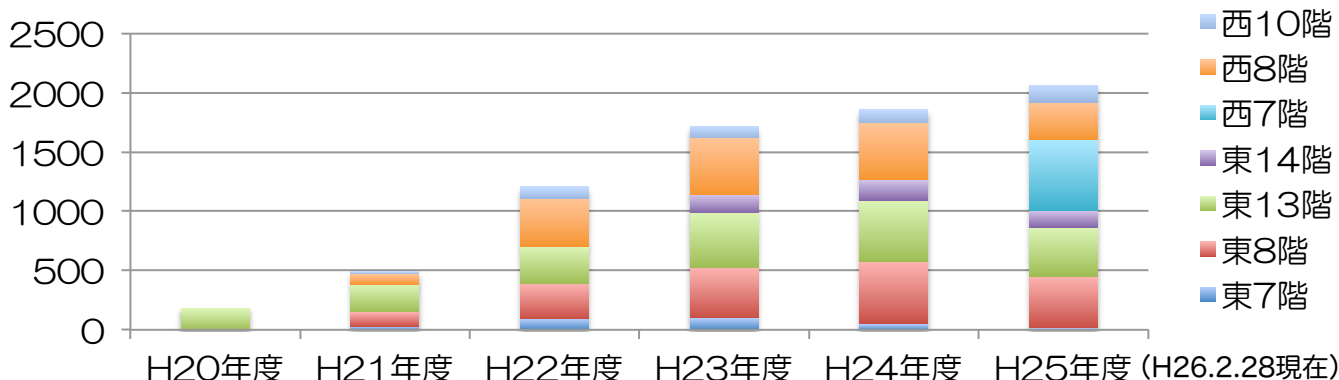


病棟NSTの紹介

栄養サポートチーム加算を御存知でしょうか？詳しくは第33号を御覧下さい。
 栄養管理を要する患者さんに対して、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士等が共同して必要な診療を行なった場合に、週1回200点の加算が取れることになっています。
 現在加算されているのは西8、東13階で、これ以外に東7、8、14階、西7階、10階で病棟NSTカンファレンスが行なわれております。



今回は、最も積極的に、多くの患者さんのカンファレンスを行なっている東13階病棟のNSTの取り組みをご紹介します。

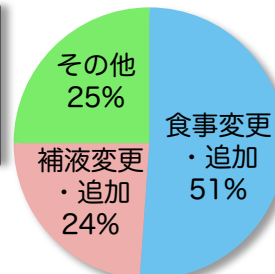
東13階病棟におけるNSTカンファレンス

当病棟は泌尿器科・胃腸外科・救急病床の3科混合病棟であり、主に周術期、化学療法における患者さまへNSTとして栄養療法の提案を積極的に行っています。平成19年のスタート～現在まで少しずつスタイルを変えながら、主治医、NST担当医師（胃腸外科）、管理栄養士、薬剤師、看護師の他職種が週1回顔を合わせ、患者さまを栄養面からサポートし、状態の改善を目指して、活発な病棟カンファレンスが定着しています。

★他職種がそれぞれの立場から、以下のような内容で検討をしています。



H24年度 カンファ 内容内訳



★東13階病棟におけるNSTカンファレンスでの主な提案内容は、状態変更による食事変更・追加が約50%で輸液変更・追加が約25%、残りの25%は栄養評価の依頼や嗜好の確認、嚥下評価やリハビリの依頼などとなっています。

東13階スタッフ全員が徹底して栄養スクリーニング、栄養評価、栄養管理計画の実施が出来るようスキルアップを図り、H25年1月からはNST専従管理栄養士を迎え栄養サポート加算病棟となりました。今後も益々、患者さまを中心に充実したNSTとしてチーム医療の推進に力を入れていきます。（文責 菅野直子）

担当:肝胆脾外科 林 洋毅